

令和4年10月28日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「ワイルド・ファイヤー：火の自然史」 開催及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2022（令和4）年11月15日（火）から2023（令和5）年2月26日（日）までの期間、下記のとおり、企画展「ワイルド・ファイヤー：火の自然史」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち11月14日（月）午後3時30分から午後5時の間、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

近年、世界各地で報告されている大規模なワイルド・ファイヤー（野火、山火事）は、気候変動の要因や生物多様性への脅威として国際的な対応が急務とされています。湿潤な日本に暮らす私たちにとって、ワイルド・ファイヤーはどこか遠い出来事に思われるかもしれませんが、かつては日本でも、季節に応じて周期的に発生していました。ワイルド・ファイヤーは、植物が地上に現れたあと、およそ4億3千万年前に始まり、植物（＝燃料）の進化と地球環境の変化に影響を受けて、その性質を大きく変えてきました。過去から現在に至るまで、ワイルド・ファイヤーを長期的な視点から見つめることで、地球環境の変遷を理解するとともに、私たち人類の活動が地球環境に与える影響について考える展覧会です。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

【会場】 国立科学博物館（東京・上野公園） 日本館1階企画展示室

【会期】 2022（令和4）年11月15日（火）～2023（令和5）年2月26日（日）

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで。

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）、12月28日（水）～1月1日（日・祝）
ただし1月2日（月・祝）・3日（火）・9日（月・祝）、2月13日（月）は開館
※会期等の変更となる場合があります。

【入館料】 一般・大学生：630円（団体510円）（税込）、高校生以下及び65歳以上無料
※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。団体は20名以上。

【入館方法】 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館には、オンラインによる事前予約が必要です。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主催】 国立科学博物館

【協力】 埼玉県立川の博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、森林総合研究所、栃木県立博物館、
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

【展示概要】 別添の本展チラシ参照

【お問合せ】 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5814-9840、9883、9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「ワイルド・ファイヤー：火の自然史」

報道内覧会のお知らせ

2022(令和4)年11月14日(月)午後3時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「ワイルド・ファイヤー：火の自然史」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

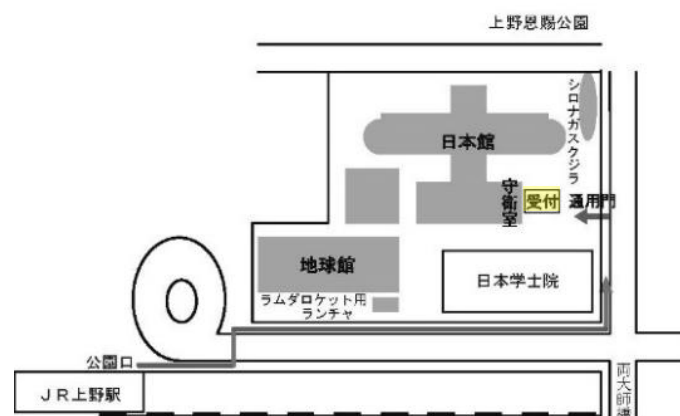
【日時】 2022(令和4)年11月14日(月)
午後3時30分～午後5時(受付開始 午後3時～)

【会場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

日本館1階企画展示室

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

午後3時～ 受付開始(受付場所：日本館1階守衛室前)

午後3時30分～午後5時 報道内覧会

※本展の監修をした、国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

(1) 次の方のご参加は不可とさせていただきます。

- ・平熱と比べて高い発熱がある
- ・咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛など風邪のような症状がある

(2) 以下、ご理解・ご協力をお願いいたします。

①来館時

- ・受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・マスクの着用をお願いします(内覧時も含む)。
- ・会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。

②内覧時

- ・対人距離をなるべくあけるようお願いします。
- ・間隔調整のため、各展示は譲り合ってお覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

③来館後

- ・万が一、体調不良等が起こった場合は必ず国立科学博物館企画展担当までご連絡ください。

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **11月10日(木)午後5時**までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・件名：企画展「ワイルド・ファイヤー」報道内覧会申込
- ・お名前
- ・ご所属
- ・緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね3日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

【本展監修者】



国立科学博物館 地学研究部 生命進化史研究グループ
研究主幹 矢部 淳（やべ あつし）

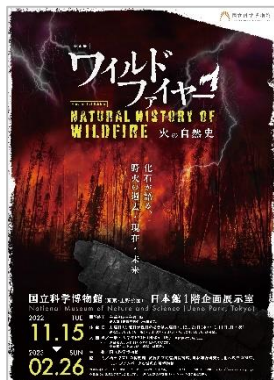
専門は植物化石、古生態、古環境解析。

日本や東アジアの植生の歴史を解明するため、新生代を中心とした植物化石の分類と植物の化石に基づいた過去の気候解析を行っています。

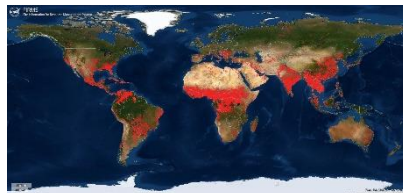
広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



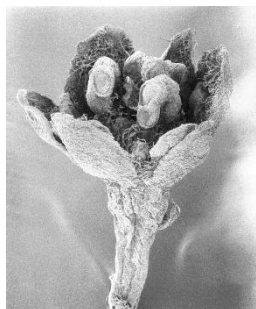
①企画展「ワイルド・ファイヤー：
火の自然史」ポスター



②火災地図 (FIRMS)
(画像提供: NASA)



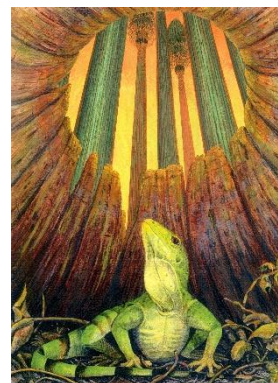
③火に適応した植物
ウォールム・バンクシア



④火事で残された化石の花 約9000万年前
(写真提供: 高橋正道)



⑤地層に含まれる火の化石チャコール
(所蔵: Andrew C. Scott)



⑥木のウロに隠れるトカゲ
(絵提供: Steve Greb)



⑦クロボクを含む
土壌モノリス
(個人蔵)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

ワイルド ファイヤー

Special Exhibition

NATURAL HISTORY OF WILDFIRE 火の自然史

化石が語る、
野火の過去・現在・未来

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

2022

TUE

開館時間／午前9時～午後5時

※入館は閉館時刻の30分前まで。

11.15

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)、12月28日(水)～1月1日(日・祝)

※ただし1月2日(月・祝)・3日(火)・9日(月・祝)・2月13日(月)は開館。

入館料／一般・大学生630円(団体510円) ※団体は20名以上。

(税込) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

※高校生以下および65歳以上は無料。

2023

SUN

主催／国立科学博物館

協力／埼玉県立川の博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、森林総合研究所、栃木県立博物館、
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

02.26

お問い合わせ／TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

FAX: 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。 ※入館方法の詳細はホームページをご覧ください。

ワイルド・ファイヤー

企画展

Special Exhibition

NATURAL HISTORY OF WILDFIRE 火の自然史

近年、世界各地で報告されている大規模なワイルド・ファイヤー（野火、山火事）は、気候変動の要因や生物多様性への脅威として国際的な対応が急務とされています。湿潤な日本に暮らす私たちにとって、ワイルド・ファイヤーはどこか遠い出来事に思われるかもしれませんが、かつては日本でも、季節に応じて周期的に発生していました。ワイルド・ファイヤーは、植物が地上に現れたあと、およそ4億3千万年前に始まり、植物（＝燃料）の進化と地球環境の変化に影響を受けて、その性質を大きく変えてきました。過去から現在に至るまで、ワイルド・ファイヤーを長期的な視点から見つめることで、地球環境の変遷を理解するとともに、私たち人類の活動が地球環境に与える影響について考える展覧会です。

第1章

ワイルド・ファイヤーとは？



火に適応した植物
ウォールム・バンクシア *Banksia aemula*

ワイルド・ファイヤーはいつどこでどのように発生するのでしょうか。本章では、ワイルド・ファイヤーの発生と季節との関係や、発生に関わる3つの要素「酸素」「燃料」「着火現象」を解説します。また、ワイルド・ファイヤーが気候や地形、生物に与える影響、そして火に適応した生物も紹介します。



火災地図 (FIRMS, 提供: NASA)

第2章

過去のワイルド・ファイヤーの調べ方

ワイルド・ファイヤーのあとには焼かれてチャコール（木炭、炭）化した植物が残されます。この物質を調べると、燃えた温度や酸素濃度などがわかり、ワイルド・ファイヤーの特徴が見えてきます。



火事で残された花 *Calluna vulgaris*
(写真: Andrew Scott)

第3章

ワイルド・ファイヤーの歴史

ワイルド・ファイヤーの発生に関わる燃料（＝植物）と酸素濃度は、長い地球の歴史の中で大きく変化してきました。ワイルド・ファイヤーは、高酸素濃度の環境では大規模に発生し、酸素濃度が現在に近い時代でも、気候に応じて各地で周期的に発生しました。生物と深い関係を築いたワイルド・ファイヤーの歴史を、植物の進化と酸素濃度の変化に着目してたどります。

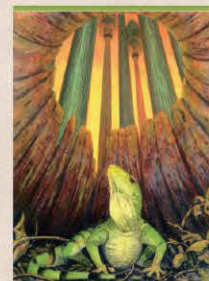


地層に含まれるチャコール

第4章

火とヒトの暮らし

人類は、食料を加工したり、野焼きをしたり、はるか昔から火を使ってきました。その活動の痕跡もまた、チャコールとして残されています。本章では、残されたチャコールからわかる先史時代の人類活動とともに、火を使った植生管理など現代社会で行われている活動も紹介します。



木のウロに隠れるトカゲ
(絵: Steve Greb)



クロボクを含む土壌モノリス

第5章

これからのワイルド・ファイヤー

火とは切れない関係を構築してきた私たち人類は、これからどのようにワイルド・ファイヤーに向き合えばよいのでしょうか。シミュレーションによって予想される近未来のワイルド・ファイヤーから、私たちが解決すべき課題を考えます。

入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。
<https://www.kahaku.go.jp/>



要予約



アクセス

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」7番出口から徒歩10分
- 京成電鉄
「京成上野駅」正面口から徒歩10分
※当館には駐車場および駐輪場はございません。

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>

